

「ひょうご豊かな海づくり県民会議」の概要

【目的】多様な主体による豊かな海づくり活動のネットワーク化を進め、県民参加の裾野を一層広げることにより、将来に渡って四季折々の海の恵みを楽しみ、誰もが海水浴や潮干狩りなどの海のレジャーを楽しむことができ、次代を担う子ども達をはじめ多くの県民がそれを誇りに思える「豊かで美しいひょうごの海」の実現を図ることを目的とする。

豊かな海づくりに向けた取組推進(県)

生物生産性回復×栄養塩類供給

- 生物生産性回復に向け、施肥試験等を実施し、地域循環による新たな栄養塩類供給の可能性を検討

藻場再生×地球温暖化

- R5年度に学識者、市民団体、事業者行政等からなる連絡会議を設置
- 生物の産卵・生育場であるアマモ場等の藻場の保全・再生・創出を図るとともに、クレジット制度の活用を検討

ノリ養殖×地球温暖化

- 養殖ノリのブルーカーボンとしての可能性に着目し、CO₂固定量の算定手法を検討
- ノリの乾燥工程をエネルギー転換した場合のCFP低減を検討

海洋プラスチック×資源循環

- 事業者、リサイクラー、団体、市町、県による「ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム」で公民連携によるプラスチック使用削減及び資源循環を推進
- 県内企業が開発した生分解性プラの活用を促進

プラットフォーム機能
取組のネットワーク化
情報共有・連携

会員間及び行政機関の連携促進

区分	期待される役割(例)
企業	栄養塩類増加措置 ・ 栄養塩類増加措置の実施
	地産地消 ・ 飲食店、学校給食等での県産水産物の消費拡大
	※その他、今後想定される企業活動の例 ・ 海洋プラごみ対策を見据えた資源循環 ・ 企業の森づくり活動への参加 ・ 社会貢献としての豊かな海づくり活動への参加
NPO等	・ 海洋環境保全活動、ワークショップ・学習会の開催
関係団体	水産関係 ・ 海底耕耘、かいぼり、栽培漁業等の活動実施
	環境関係 ・ 環境保全活動支援、普及啓発の実施
	森・川・里 ・ 森、川、里、海の繋がりを踏まえた、豊かな森づくり活動やため池のかいぼりの促進
	消費者 レジャー・水族館 ・ 一般消費者への普及啓発活動 ・ エシカル消費への推進 ・ 海と親しむ県民向け啓発活動
教育・研究機関	・ 栄養塩類の循環等に関する試験研究 ・ 行動力や創造力、発信力のある学生が参画した豊かな海づくり活動
マスコミ	・ 豊かで美しいひょうごの海についての積極的な情報発信
行政機関	国、県(環境、農林水産、土木等) 沿海市町

活動の情報発信と県民総参加に向けた取組

県民総参加に向けた普及啓発

ひょうご豊かな海づくり大会の開催

- 大会のレガシーが色あせることがないよう会員や県民が広く参加する推進大会を開催



HP等を活用した取組周知・広報

- 企業や団体、学生達が連携して行う取組を中心にSNSを用いて広報

更なる県民への広がり支援

- 複数の会員や、会員と会員外の団体等が連携して行う豊かな海づくりに資する県民参加型の取組を支援

豊かな海づくり啓発活動

- 豊かな海を未来へ繋ぐ発信プロジェクト協議会が様々な団体と連携して取り組んできた各種事業を継続実施
・ 出前おさかな講習会等

※ 海づくり大会にあわせて製作したテーマソングやはばタンを活用

